

第4回播磨臨海地域カーボンニュートラルポート推進協議会 議事要旨

日時:令和5年3月22日(水)10:00~12:00

場所:ホテルモントレ姫路

●意見照会内容

・港湾法の改正に伴う港湾の基本方針の変更、港湾脱炭素化推進計画作成マニュアルの公表が今月末に予定されている。

・計画が絵に描いた餅にならないようにするために、今後、短期・中期・長期の取組を記載する際、特に短期については実施できる内容を計画に具体的に記載していくようにしてほしい。

・計画の目指す姿について、「産業と経済の好循環」は、脱炭素化とリンクさせた書き方が良い。

・削減計画について、公共埠頭内の港湾荷役機械については、もう少し取組期間を前倒しする必要があるのではないか。

→(事務局)今後、留意しながら検討する。

・将来の次世代エネルギーの受入拠点の規模について、全国の需要量に対して再生可能エネルギー輸入比率を7割とする国の想定を適用するのはかなりアグレッシブであると思う。

・骨子は良くまとめられており、分かりやすい資料となっているが、今後、何をどのように進めていくのか、ロードマップを記載した方が良いのでは。

→(事務局)骨子は、議論の透明性を確保するために、現時点で可能な範囲でまとめている。ロードマップは引き続き検討していく。

・CO2 排出量のほとんどが公共埠頭外であるため、ロードマップは公共埠頭外に比重を置くべき。

・数字を公表するということで非常に気を使うこともあると思うが、大量に排出している企業がどのように減らす取組をしていくのかを、今後とりまとめる計画において何らかの形で残せたら良いと思う。

・温室効果ガス排出量の削減目標と水素等の供給目標の2つの目標の相関が分かるように、水素供給目標がCO2 排出削減量にどの程度寄与するのかについて、記載するべきではないか。

→(事務局)今後、留意して計画のとりまとめを進める。

・計画の名称を示していただき、非常に分かりやすくなった。温室効果ガスの削減計画について、この地域が全国に先駆けて行っていくことが重要。

・今後、一つの拠点の規模をどうするのか、二次輸送も含めて具体化することで、その結果が播磨・関西にどう繋が

っていくのか、具体的に表現できれば良いと思う。

・国への要望を見据えて、具体性がほしい。予算が全体でいくらかかるのか、埋立地がどれだけ必要なのか、各企業様は何を、どれくらいの額面で求めているのか等を確認していただきたい。

・現在、アンモニアの技術も進んでいる。水素だけでなくアンモニア燃焼もあると思う。今後とも、アンモニアの必要性も確認していった方がいい。

・水素の価格、必要な時期、供給量は早く出していただきたい。今後の見通しがはっきりしていれば、各企業が取り組みやすい。

・副題を示していただいて、広域への繋がりが明確に打ち出せたと思う。他の地域・港と差別化が図れて、国等からの支援を受ける上でも有効に働くと思う。

・瀬戸内・関西へどう波及していくのかについて、書ける範囲でもう少し明確にした方がいい。「他港への2次輸送」についても、今後可能な範囲で、具体的な瀬戸内・関西の港を記載していただきたい。

→(事務局)検討する。

・温室効果ガス削減の取組説明の中には、播磨臨海地域でのCO₂排出削減の取組だけでなく、各事業者の脱炭素の取組説明が混在している。ここでは「播磨臨海地域の取組」について記載する方が適切ではないか。または「播磨臨海地域事業者の脱炭素の取組」として地域に限定しない取組として紹介するかのいずれかが適当だと思う。

→(事務局)検討する。

・今回、この骨子案を公表する理由は、サプライチェーン拠点形成に向けた国へのアピールと、地域全体で、取組を進めることを示すことにあると思う。今後は、もう少し具体性のあるような中身・打ち出しが必要であると感じた。

・神戸港への2次輸送が57万トンとあるが、現在技術開発中の16万m³の大型液化水素運搬船であれば、1航海あたり約1万トンの輸送になるので、57往復となり、これだけの規模になると1次基地が必要になってくるかもしれない。2050年の水素需要については、神戸港は、一次基地として調査した方がいいのではないか。

・今後、この地域の拠点化に向けた議論が進んでいくと思う。経済産業省の方でも、拠点化に向けて手を挙げるところに対し、FS調査から始めることをお願いすることになるかもしれない。

・企業様が、水素等の次世代エネルギーの具体需要を出すことは、まだ難しい段階にあると思う。本省の方で、水素戦略の見直し作業を始めており、より多くの経済活動をされている方々に、エネルギー転換の後押しになるような計画づくりの議論が進みつつある。このような動きについても見ていただいて、検討を進めてもらいたい。

以上